



2016年3月期 決算説明会

2016年4月28日
株式会社デンソー

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

1. 売上は、海外での生産増加や拡販、円安の影響により、増収
営業利益は、その他収支を除くと、
合理化努力、操業度差益、為替差益により、増益

2. 年間配当は、120円(前年比10円増配)

3. 来期は、生産増加や拡販はあるものの、
為替の影響により、減収減益

2016年3月期 実績

2 /32

【単位:億円、%】

	16/3期実績	15/3期実績	増減額	増減率
売上収益	45,245	43,098	+2,147	+5.0%
営業利益 (除くその他収支)	(8.1%) 3,652	(8.3%) 3,581	+71	+2.0%
その他収支	△ 495	△ 268	△ 227	
営業利益	(7.0%) 3,157	(7.7%) 3,314	△ 156	△4.7%
金融収支等(※1)	316	405	△ 90	
税引前利益	(7.7%) 3,473	(8.6%) 3,719	△ 246	△6.6%
当期利益(※2)	(5.4%) 2,443	(6.0%) 2,584	△ 141	△5.5%

前提条件	為替レート	16/3期実績		15/3期実績		増減額	増減率
		1ドル	1ユーロ	1ドル	1ユーロ		
		120円	133円	110円	139円	10円 円安 6円 円高	
国内車両生産		893万台		921万台		△28万台	△3.1%
海外日系車生産 (内、北米)		1,875万台 (626万台)		1,834万台 (600万台)		+41万台 (+26万台)	+2.2% (+4.3%)

(※1) 金融収益、金融費用、為替差損益、持分法による投資利益 (※2) 親会社の所有者に帰属する当期利益

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<連結決算概要>

売上収益は4兆5,245億円。前年比 + 2,147億円、

5.0%の増収となりました。

その他収支を除く営業利益は、

3,652億円と、前年比 + 71億円、2.0%の増益となりました。

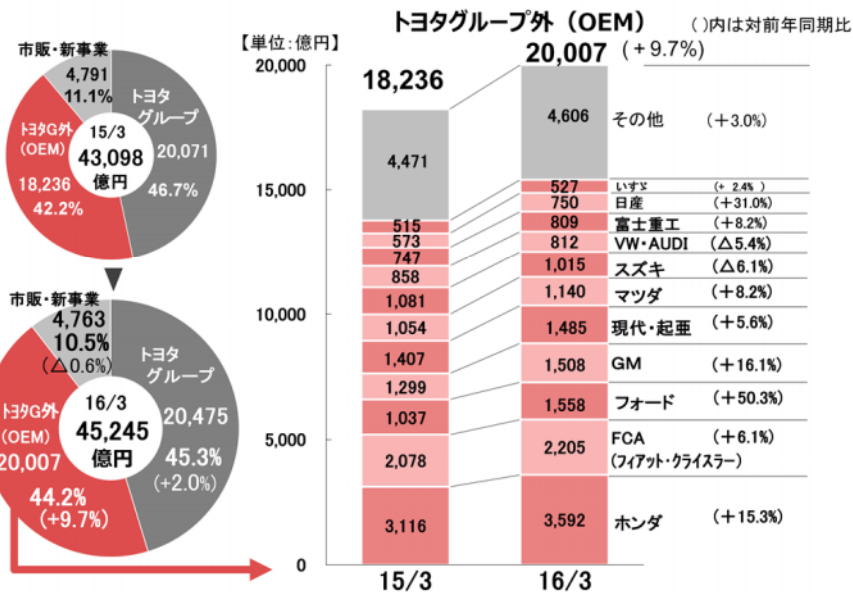
当期利益は、2,443億円と、前年比 ▲ 141億円、

5.5%の減益となりました。

2016年3月期 売上収益(得意先別)

3 /32

海外車両増に加え、省燃費製品等拡販により増収



DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<得意先売上>

トヨタグループ向け

軽自動車を中心とする国内車両生産は減少しましたが、北米や中国での好調な生産や、北米での安全製品の拡販により、全体として増加しました。

トヨタグループ以外日系カーメーカー向け

- ・ホンダは、主に北米や中国での車両生産の増加や直噴製品の拡販により、
- ・マツダは、SKYACTIV用ディーゼルのコモンレールシステムを含む車両生産の増加により、増加しました。

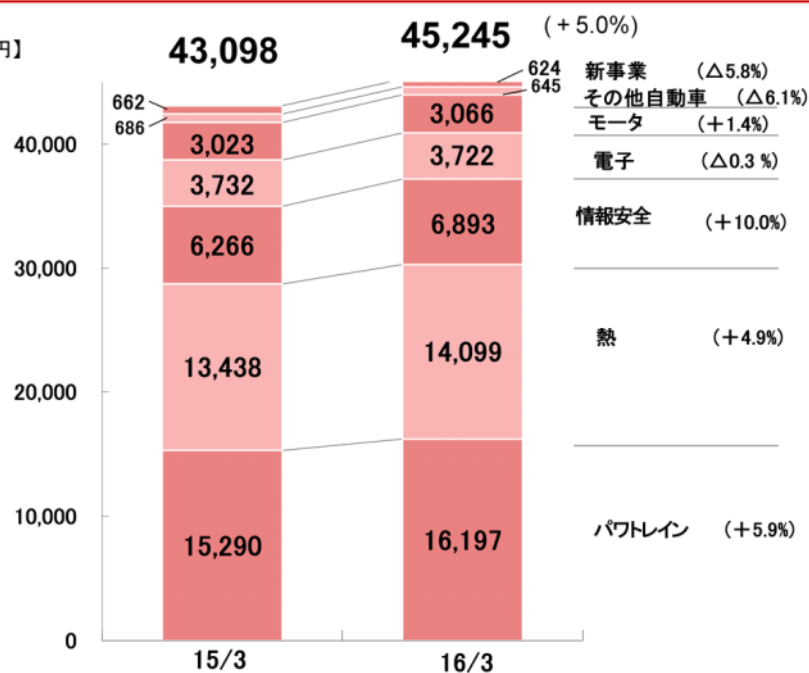
海外カーメーカー向け

- ・フィアット・クライスラーは、欧州での車両生産の増加やエアコン製品の拡販により、
- ・フォードは、北米・中国・欧州での拡販により、それぞれ売上が増加しました。

2016年3月期 売上収益(製品別)

4 /32

【単位:億円】



DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<製品別売上>

パワトレイン

北米、欧州地域での車両生産増加やガソリン直噴製品などの拡販により、売上が増加しました。

熱

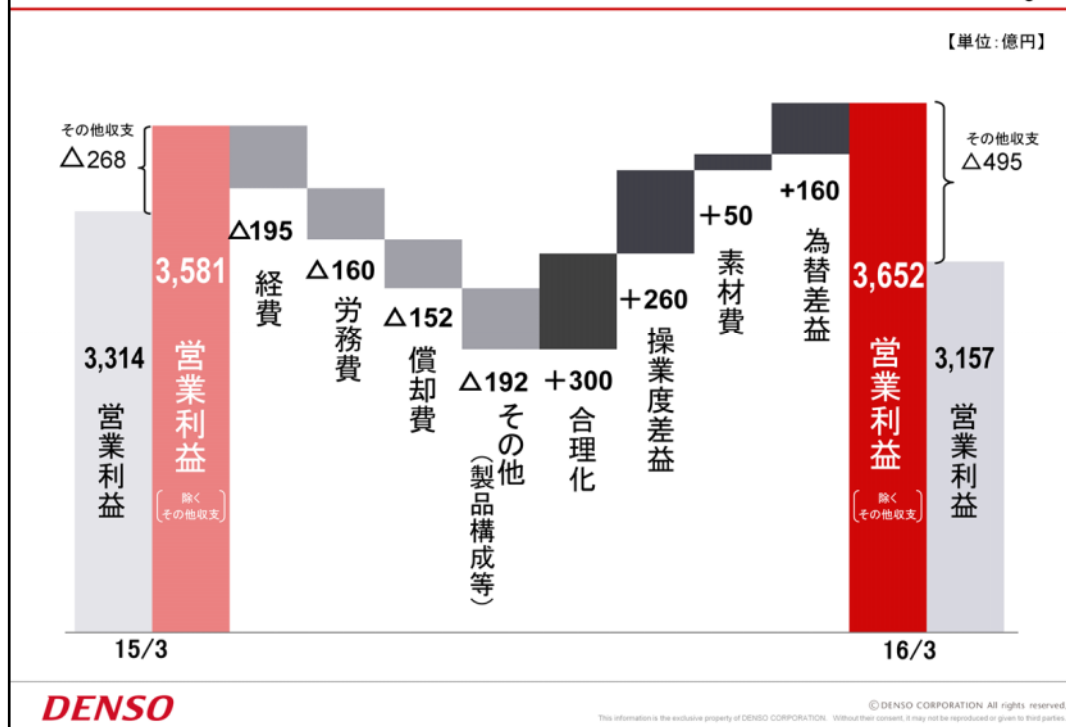
欧州や中国での車両生産増加により、増加しました。

情報安全

北米でのメータや、日本や北米での安全製品の拡販により、増加しました。

2016年3月期 営業利益増減要因(前年比)

5 /32



<営業利益(除くその他収支)の増減要因>

主な点は以下の通りです。

マイナス要因

- ①経費増 ▲195億円は、
研究開発費等の将来の成長に向けた費用によるものです。
- ②労務費増 ▲160億円は、新興国での賃金増加によるものです。
- ③償却費増 ▲152億円は、
アジアを中心とする海外での次期型製品の投資によるものです。

プラス要因

- ①合理化努力 +300億円は、コストダウンや生産性向上によるものです。
- ②操業度差益 +260億円は、
北米・中国・欧州を中心とする生産の増加や拡販によるものです。
- ③為替差益 +160億円は、主にドルで10円の円安によるものです。

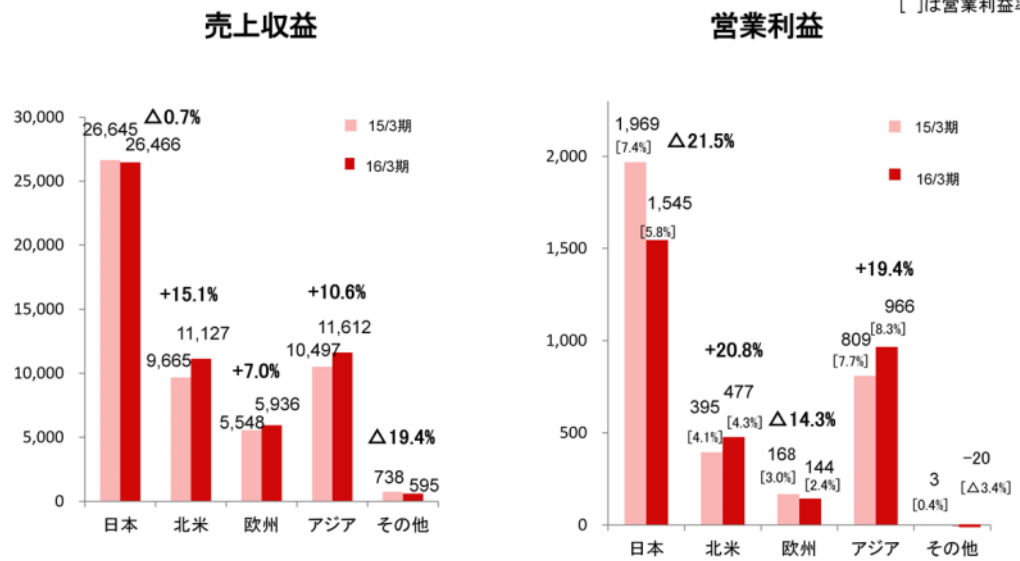
以上により、その他収支を除く営業利益は3,652億円となりました。

2016年3月期 所在地別セグメント情報(前年比)

6 /32

円貨ベース

【単位:億円】
[]は営業利益率



DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<地域別の売上・営業利益(円貨ベース)>

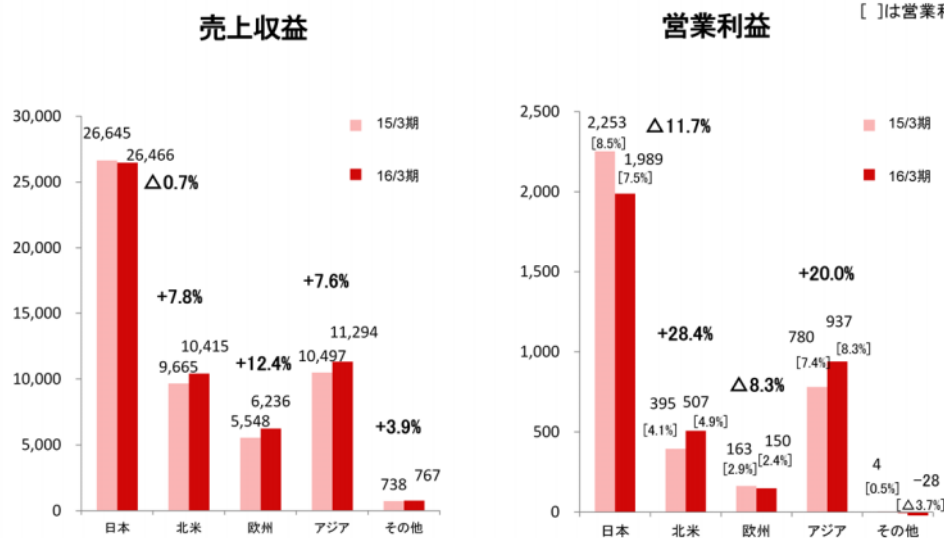
次ページにて、現地通貨ベースで説明

2016年3月期 所在地別セグメント情報(前年比)

7 /32

為替の影響を除いた現地通貨ベース(その他収支を除く)

【単位: 億円】
[]は営業利益率



DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<地域別の売上・営業利益(現地通貨ベース・その他収支を除く)>

日本

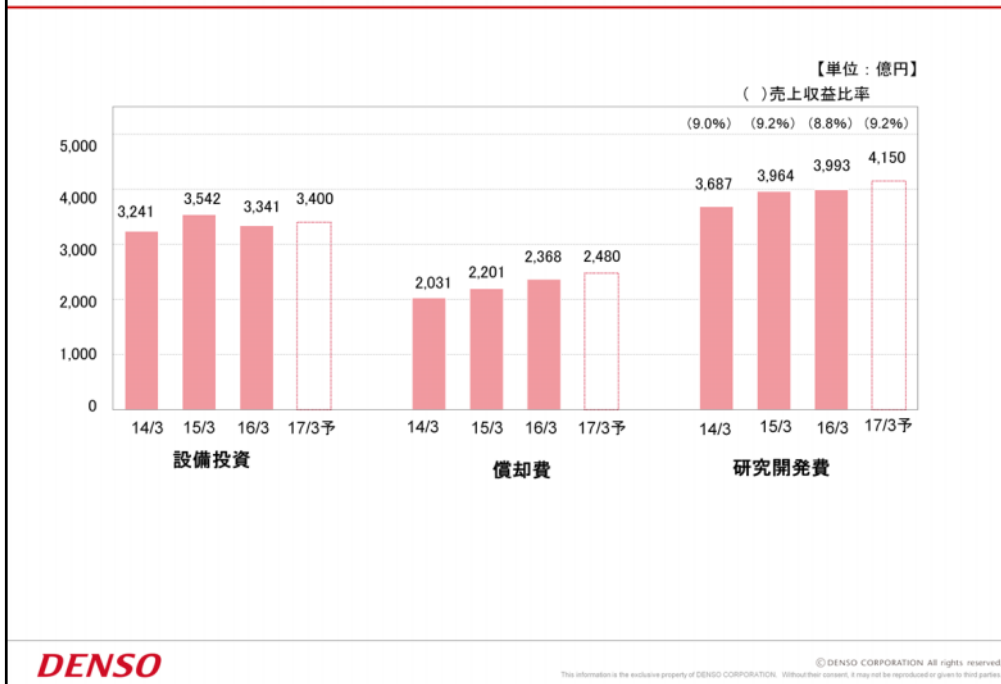
- ・売上収益は、軽自動車を中心とする車両生産の減少により、前年比 ▲0.7% の減収となりました。
- ・利益については、生産減少による操業度差損や、研究開発費等の将来の成長に向けた費用により前年比 ▲11.7% の減益となりました。

日本以外

- ・北米、アジアでは、生産の増加や拡販により増収・増益、
- ・欧州は、生産の増加や拡販があったものの、生産立ち上げに伴う償却費や一時的なコスト増により増収・減益となりました。

設備投資・償却費・研究開発費の推移

8 /32



<設備投資、償却費、研究開発費の推移>

設備投資の実績は、3,341億円となりました。

投資の効率化に取り組んでおり、

前年の3,542億円から▲201億円、5.7%減少しております。

来期は引き続き、投資の効率化に取り組む一方、合理化投資を推進するため、

通期予想は3,400億円といたします。

償却費の実績は、2,368億円と、

前年比+167億円の増加となり、

来期は、2,480億円と、+112億円の増加を見込んでおります。

研究開発費の実績は3,993億円と、

前年比+28億円、0.7%の増加となりました。

来期は、引き続き、環境、安全分野を中心に、

製品開発を強化するため、

通期予想は4,150億円といたします。

2017年3月期 通期予想

9 / 32

()内は売上収益比 【単位：億円、%】

	17/3期予想		16/3期実績		増減額	増減率
売上収益		45,000		45,245	△ 245	△0.5%
営業利益 (除くその他収支)	(7.0%)	3,130	(8.1%)	3,652	△ 522	△14.3%
その他収支		0		△ 495	+495	
営業利益	(7.0%)	3,130	(7.0%)	3,157	△27	△0.9%
金融収支等(※1)		290		316	△26	
税引前利益	(7.6%)	3,420	(7.7%)	3,473	△53	△1.5%
当期利益(※)	(5.2%)	2,350	(5.4%)	2,443	△93	△3.8%

前提条件	為替レート	1ドル	110円	1ドル	120円	10円 円高	
		1ユーロ	125円	1ユーロ	133円	8円 円高	
国内車両生産		938万台		893万台	+45万台	+5.0%	
海外日系車生産 (内、北米)		1,949万台 (648万台)		1,875万台 (626万台)	+74万台 (+22万台)	+4.0% (+3.6%)	

(※1) 金融収益、金融費用、為替差損益、持分法による投資利益 (※2) 親会社の所有者に帰属する当期利益

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<通期予想>

生産増加や拡販により、
物量ベースでは市場の伸びを上回るものの、
足もとの為替の状況を踏まえ、
売上収益は、4兆5,000億円、
営業利益は、3,130億円を見込んでおります。

前提となる為替レートは、ドル110円、ユーロ125円です。
日系車両生産台数は、国内は 938万台、海外は 1,949万台
と想定しております。

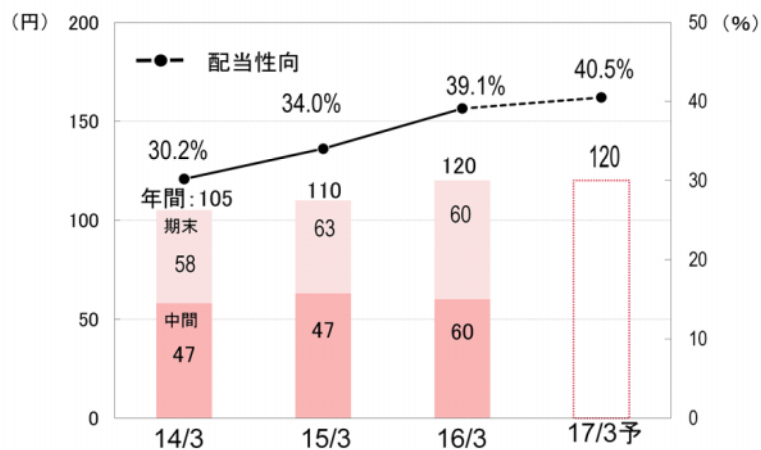
株主還元方針

持続的な事業成長を果たし、企業価値を高めるための
投資(設備、研究開発、M&A)を行うとともに、

1. 連結業績および配当性向・配当金額を勘案し、
長期安定的に配当を実施
2. 資金状況、市場環境を考慮の上、自己株式を取得

16/3期： 配当 15/3期より 10 円増配の 120円

17/3期： 配当 16/3期と同じ 120円を予定



DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<株主還元>

1株当たりの配当金については、
減益ではありますが、今期は120円とし、
来期も120円を予定しております。

今後とも、企業価値の向上に努めるとともに、
一層の株主還元を図ってまいります。

デンソーグループ18年中期成長戦略

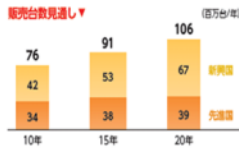
1. 18年中期方針
2. 注力する事業
 - (1) 環境、安心・安全
 - (2) 市販・新事業
 - (3) 海外市場
 - (4) 持続的成長を下支えする施策

1. 18年中期方針

18年の目指す姿

【足元の環境認識】

①新興国が引続き市場を牽引



②環境と安心・安全のニーズ拡大



③部品・ユニットの標準化が加速



【実らせたい果実】

足元の経営課題および長期的な社会課題解決視点から注力する事業

【果実に栄養を送り込む幹】

注力事業の拡大をリード&サポートするために強化する機能

【樹木を支え育む土壌】

事業の拡大、機能強化を成し遂げるために兼ね備えたい企業体質

「環境、安心・安全」「市販新事業」「海外市場」に注力

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

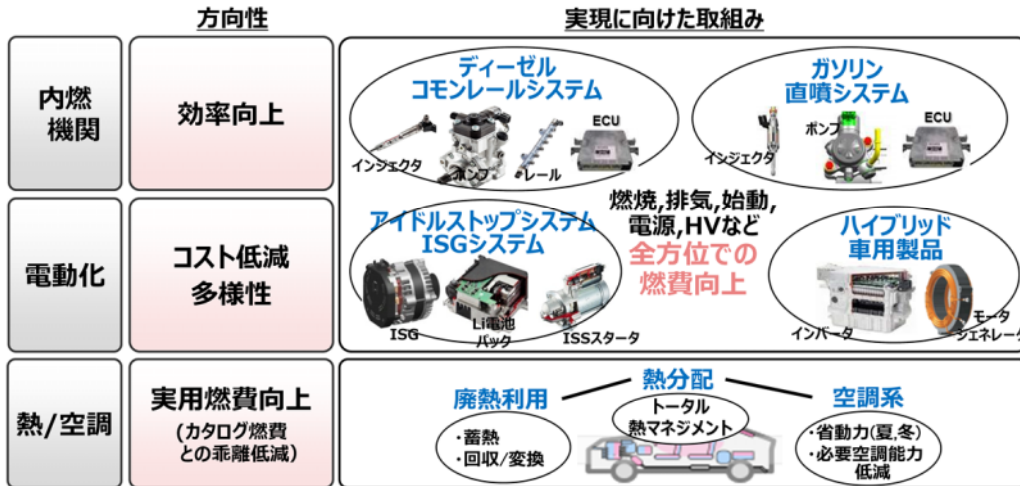
<18年中期方針>

当社は、2020年にありたい姿を見据え、今後3年間で取り組むべき施策を「18年中期方針」にまとめました。「環境、安心・安全」、「市販・新事業」、「海外市場」を3つの注力する事業とし、15年度より取り組みを開始しております。

15年度を振り返りますと、環境、安心安全製品を中心に、お客様のニーズに確実に応え、製品開発、生産供給できたと感じております。同時に、昨今の品質への関心の高まり、また、TNGA第一弾の発売の年ということもあり、将来を見据え、“足元固めに多くを費やせた”と実感しております。16年度では、15年度の活動をもとに、中期方針達成に向けた動きを加速させてまいります。

環境分野

CO₂排出量の削減に向けた環境分野の技術開発の方向性



燃費を向上させ、「CO₂排出量の削減」に貢献

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<環境分野>

デンソーでは、ガソリン、ディーゼルなどの内燃機関の、噴射、点火、そして排ガス処理までも一貫で研究し、効率向上に取り組んでいます。また、小型・低コストで、高効率なシステムを開発し提供することで、電動化普及も促進してまいります。

各市場での規制強化を先取りし、ガソリン車、ディーゼル車、電気自動車、ハイブリッド車など全方位の品揃えで、燃費を向上させていきます。

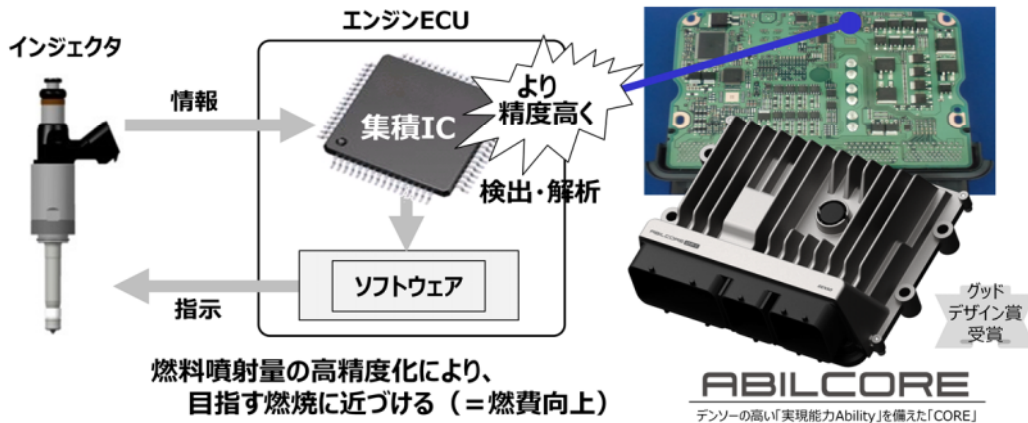
さらに、当社の強みである幅広い事業領域を活かし、熱とパワトレインの連携を通じて、車両トータルでの実用燃費の向上にも取り組んでまいります。

内燃機関の効率向上

エンジンECU(ABILCORE)技術を活かした取組み

【 3つの開発信条 】

- ・燃料を活かしきる
- ・エネルギーを回生しきる
- ・排気を浄化しきる



高精度な噴射制御技術により、燃費向上に貢献

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

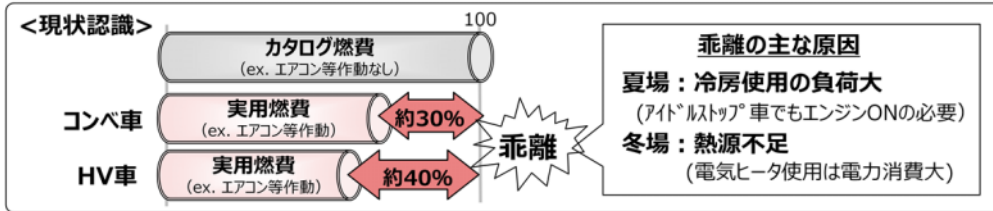
内燃機関効率向上(“燃料を活かしきる”製品事例)

高い実現能力「Ability」を備えた「Core」を意味する“ABILCORE”というエンジンECUは、インジェクタの噴射情報を、従来よりも精度高く検出・解析することが可能となります。これにより、噴射の量・タイミングの精度を高めることができ、最少の噴射量で目指す燃焼レベルに近づけ、燃費向上に貢献致します。

更に、小型化・部品標準化も達成しており、小型乗用から大型建機まで、提供が見込まれます。

実用燃費向上

熱・空調製品の省動力・高効率化への取り組み



夏場対応 ⇒ 省動力冷房技術

冬場対応 ⇒ 熱源創出技術

蓄冷ケース

インナーフィン

独自開発のインナーフィンにより、蓄冷性能向上

蓄冷エバポレータ

アイドリングストップによるエンジン停止時でも冷気供給

エジェクタ

世界初、独自のエジェクタサイクルによる省動力化

エバポレータ一体型のコンパクトな構造により、高効率化と低コスト化を両立

ヒートポンプシステム

空気からの吸熱による高効率暖房技術

独自開発のサイクル構成により低外気温度まで対応可能

乖離低減に向けたソリューション提供により、実用燃費向上に貢献

DENSO

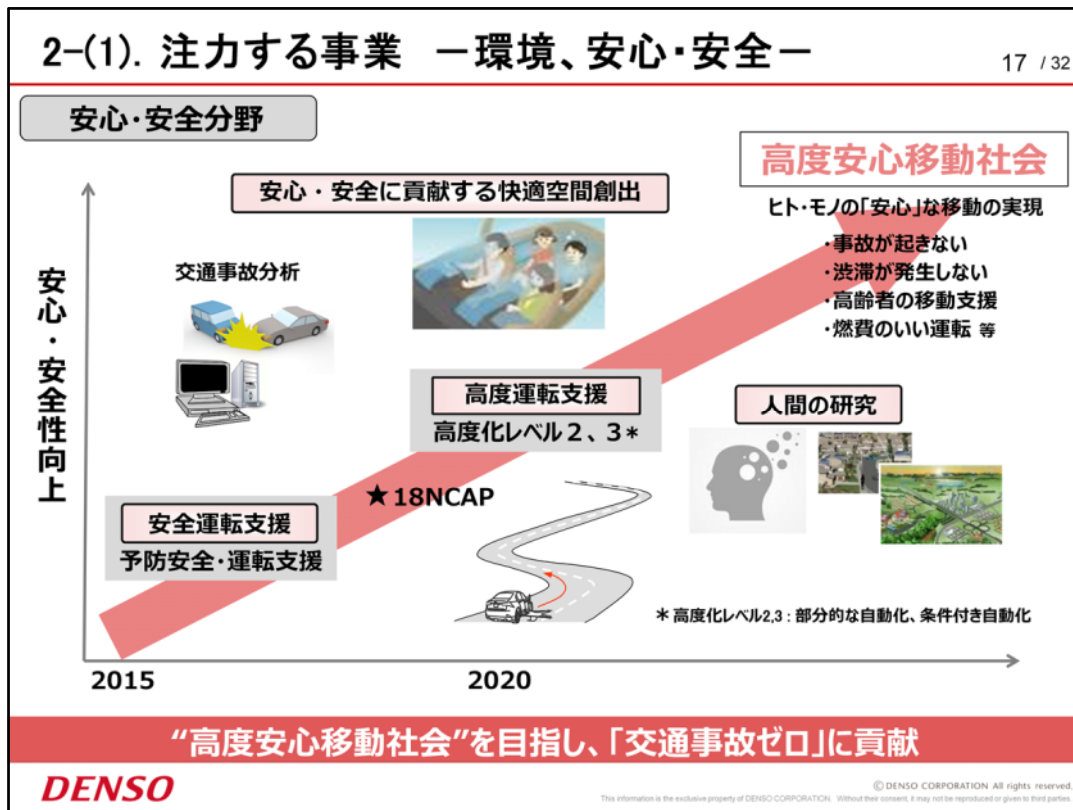
© DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

実用燃費向上

エアコンやライトの使用時、及び 街乗り時の「実用燃費」とカタログ上の燃費とは状況によっては、乖離率が約30～40%あるといわれています。

これは季節ごとの空調使用に因るもので、特に夏場は“省動力冷房技術”、冬場は“熱源創出技術”にこだわることで、2025年での乖離率半減を目指します。

例えば、蓄冷エバポレータ使用による効率的な冷気供給や、ヒートポンプ技術による外気からの熱回収でエネルギー消費を抑え、実用燃費向上に貢献致します。ヒートポンプシステムは、今後プリウスのPHVにも搭載される予定です。



<安心・安全分野>

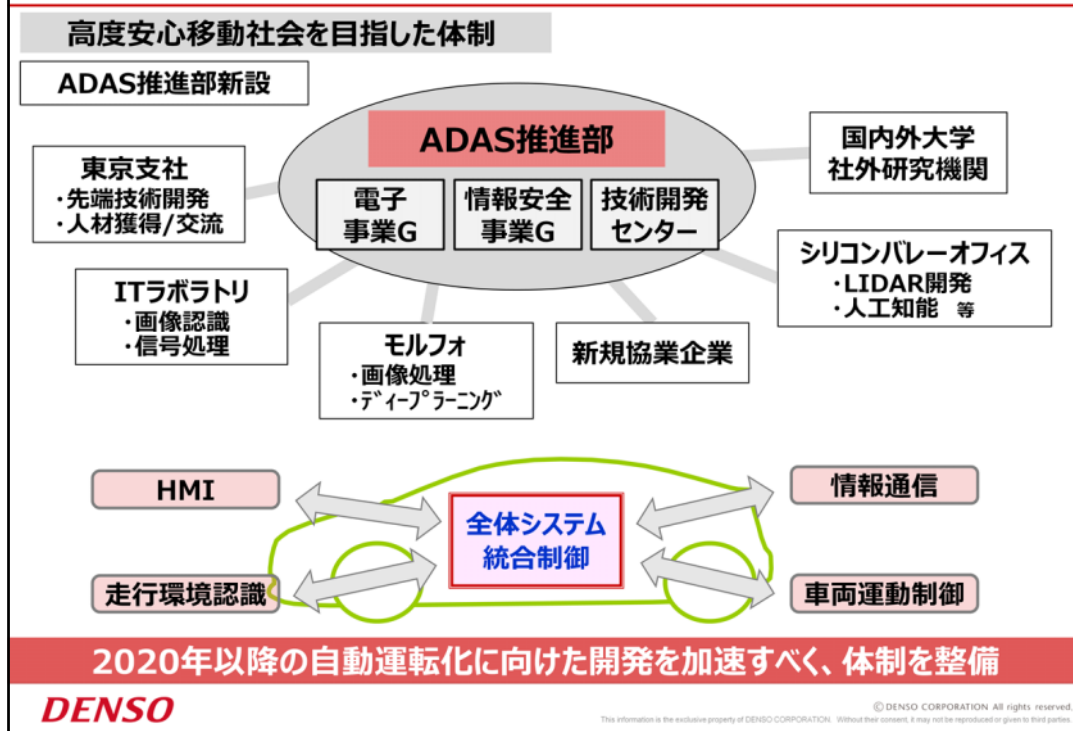
グローバルに自動車保有台数が増加するなか、
残念ながら、交通事故も増加するという状況が続いております。

デンソーは世界に先駆け
90年代から安全運転支援製品の開発量産に
取り組んでまいりました。

今後、「高度安心移動社会」を目指し、
交通事故ゼロに貢献するため、
「安全運転支援」から「人間の研究」まで
取り組みを強化してまいります。

2-(1). 注力する事業 — 環境、安心・安全 —

18 / 32



高度安心移動社会を目指した体制

これまで各々の機能部や事業部にて個別に行ってきた渉外活動や技術開発を集約し、加速させるため、1月より、全社付き組織として、「ADAS推進部」を立ち上げました。

特に、高度かつ多くの技術が要求される“自動運転”に向けては、東京支社を活用した優秀人材獲得のみならず、国内外の様々な企業との積極的な共同開発・連携をより一層加速させ、強化してまいります。

そしてまず、2020年に自動車専用道路での自動運転実現を目指します。

2-(1). 注力する事業 ー環境、安心・安全ー

19 / 32

安全運転支援（予防安全・運転支援）

18年NCAP+ α 機能を目指した技術

ミリ波レーダ

・高分解能な
信号処理技術

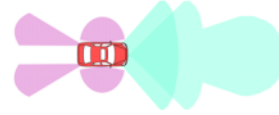


画像センサ

・高い識別性能を実現
する認識アルゴリズム



高機能センサ



18NCAP

「トヨタセーフティセンスP」搭載機能(15年～)



新機能(18年～)



+ α



技術/性能を一層高めたセンサ組合せにより、18年NCAPを超える機能を提供

DENSO

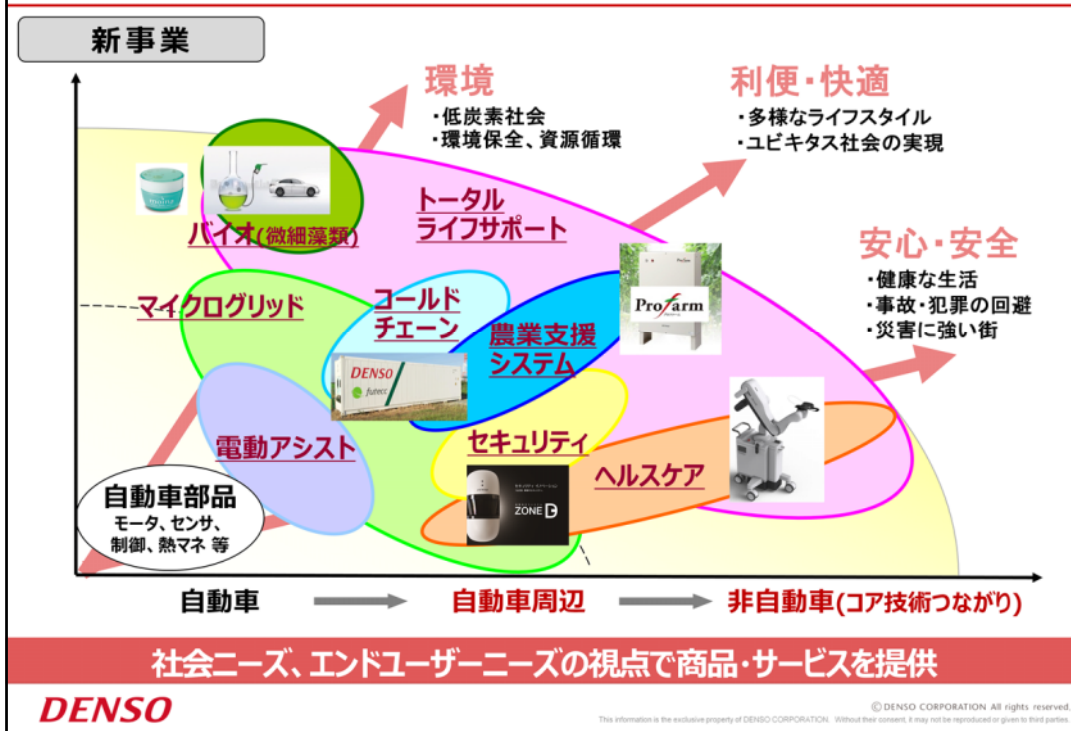
© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

安全運転支援

昨年より、「トヨタセーフティセンスP」として、
ミディアム・上級車向けに
予防安全製品が標準搭載されております。

“ミリ波レーダ”と“画像センサ”の2つのセンサ組み合わせにより、
車両・歩行者の検知を高い信頼性で実現していますが、
18年NCAPでは、夜間の歩行者、及び自転車の飛び出しの
支援ブレーキ機能までが求められます。

デンソーとしては、更にセンサ技術を強化することにより、
レーン内走行、車線変更支援といった
18年NCAPを超える、一歩進んだ機能を
提供していきたいと考えております。



<新事業>

マイクログリッド、セキュリティ、農業支援システムなど6分野で事業を開始しました。

自動車部品で培った技術を応用して、広く社会の課題・ニーズを解決するために、ユーザー視点での“ソリューション事業”に取り組むなど、事業を拡大させてまいります。

電動アシスト分野

幸福な暮らしを支えるロボット技術

2015国際ロボット展
に出展
(2015年12月)

橋・建造物等点検サービス



UAV：無人航空機
(Unmanned Aerial Vehicleの略)



橋梁の保守点検

- ・対候性
- ・安定性

ラボでの実験支援



工場での協働作業

COBOTTA
(Collaboration, roBOT,
Technology Arm に由来)

人との
共存・協働

技術者/利用者
の育成



双腕での利用

先進のロボット技術で、様々な社会課題の解決に貢献

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

電動アシスト分野

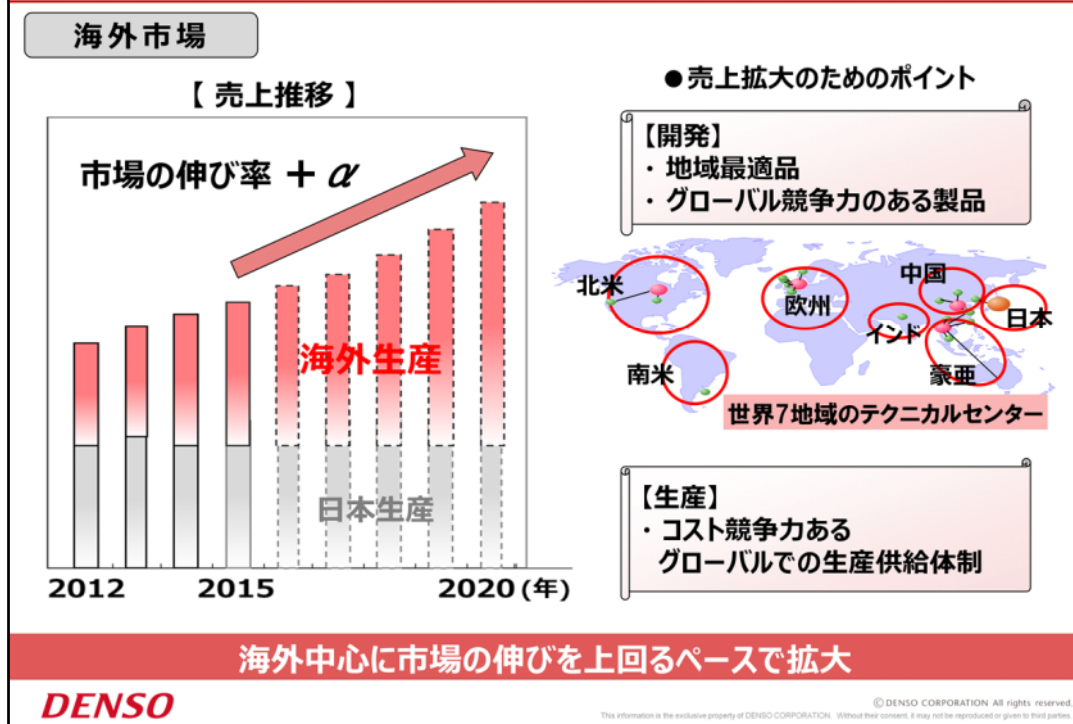
少子高齢化が進むなか、
人々の暮らしを支えるロボットの実現が求められております。

事例①ドローン(UAVによる点検サービス事業)
道路・橋などの老朽化による点検需要が増える見込みのなか、
効率化・安全性において
ロボットの活用が求められております。
デンソーがこれまで培ってきた制御技術を活かし、
強風や雨中でも飛行できる対候性、
構造物に近接して定位の姿勢に制御できる安定性、
などを実現しました。

事例②COBOTTA
世界最小クラスの本格6軸アームロボットで、
産業用ロボットで培った技術と、新たに開発した安全技術により、
防護柵なしでの人との協働作業を可能としました。
軽量なので簡単に持ち運びでき、
また、2台を組み合わせて双腕にすることも可能です。
工場やラボでの活用はもちろん、教育現場や店舗など、
暮らしの中での利用も視野に、
開発を進めております。

2-(3). 注力する事業 ー海外市場ー

22 / 32



<海外市場>

世界の車両販売が伸びるなか、デンソーとしても その市場の伸び率を上回る成長を目指します。

そのなかで重要な位置付けとなるのが“海外市場”で、その売上拡大に向けては、既に世界7極で整備されたテクニカルセンターと生産拠点が一体となって、取り組んでいきます。

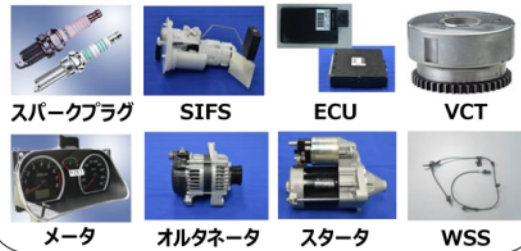
開発においては、各地域の様々なニーズに応える“地域最適品の提供”と地域の知恵を集めた“グローバルに競争力のある製品”開発が、生産においては、“コスト競争力あるグローバルでの生産供給体制”が、鍵を握ると考えております。

2-(3). 注力する事業 — 海外市場 —

23 / 32

グローバル生産供給体制

デンソー・インドネシアの取組み



(第1,2,3工場合わせて)

- ・パワトレ・熱・情報安全・電子の4事業に跨る製品を生産
- ・3工場一体による、管理機能の効率化(▲25%)

企業内学園 (デンソートレーニングアカデミー)

- ・安定したモノづくりを
下支えする教育、育成



- ・幹部育成
- ・新人教育
- ・一般社員教育
- ・技能五輪選手育成

グローバル生産供給の「構え」は完成、今後は更に「競争力」を向上

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

グローバル生産供給体制

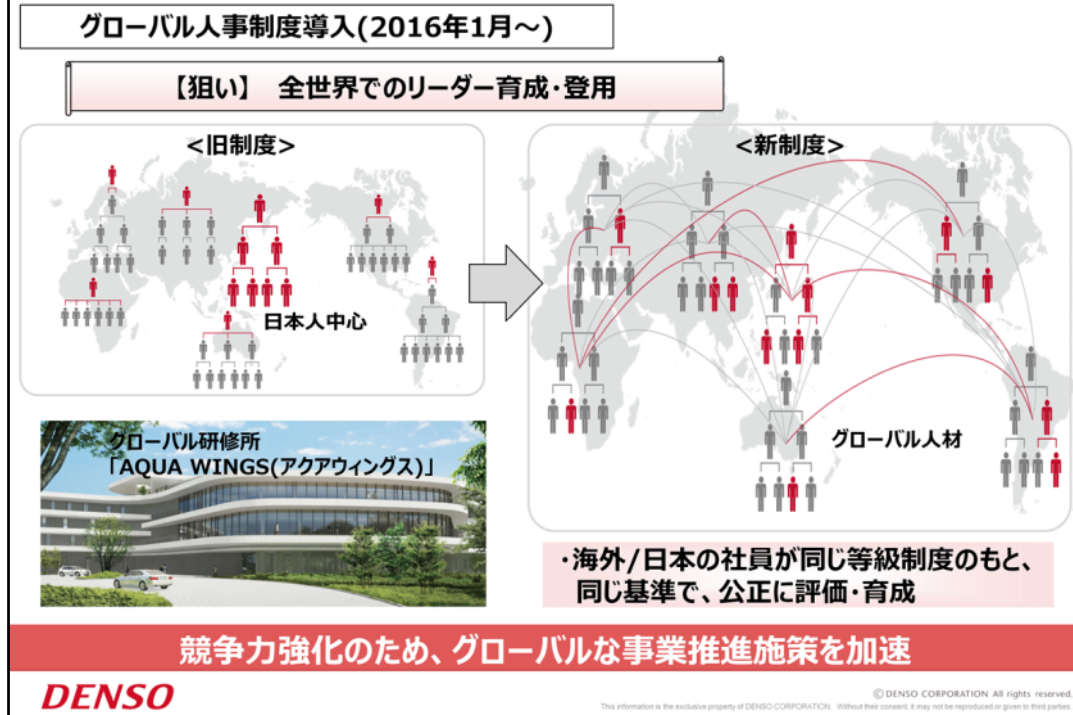
競争力ある新製品の投入、
ブリッジ生産などによる最適生産の実現、
安定した品質 を確保するため、
デンソーでは、グローバルに生産供給体制を
拡充してまいりました。

例えば、インドネシアでは、新しい第3工場にて、
2年間で10製品もの立上げが完了し、
お客様の近くで生産供給できる体制を整備しました。

今後は、更なるマネジメントの効率化や、
モノづくり教育に力を入れ、
競争力を高めてまいります。

2-(4). 持続的成長を下支えする施策

24 / 32



<持続的成長を下支えする施策>

グローバル人事制度(2016年1月～)

今後、一層激しくなるグローバル競争を勝ち抜くためには、国や地域を超えて活躍するリーダーの育成・登用が重要となります。

これまでの、各国各様で、日本人中心の人事管理を変更し、国内外を問わず、同じ等級/基準で評価される制度とすることで、社員の意識・意欲を高めることに繋げてまいります。

また、今年6月にオープンを予定している浜名湖のグローバル研修所「AQUA WINGS(アクアウイングス)」も活用し、積極的なグローバル人材の育成にも、取り組んでまいります。

2-(4). 持続的成長を下支えする施策

25 / 32

人材の確保

【狙い】 ・自動運転システム や Factory IoT の取組み加速 ・巧みな技能を磨く

①人材の獲得

<考え方>

- ・最先端の技術や従来デンソーにない領域での積極獲得

<手段>

- ・M&A、アライアンス、キャリア採用等
- ・業界権威との人脈構築や積極的な情報発信の強化



シリコンバレーオフィス



東京支社の活用

②人材の育成

<考え方>

- ・自ら学び、考え、行動する人材の継続的な育成

<手段>

- ・高度熟練技能者の早期育成、新しい技術分野での研修充実等



第9回国際アビリンピック(フランス)



第43回技能五輪国際大会(ブラジル)

競争力強化のため、積極的な人材確保を実施

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

人材確保

人材確保には、「獲得すること」と「育成すること」の両面があります。

「獲得」においては、M&A、アライアンス、社外PRを通じ、より感度の高い、未知の領域分野に長けた人材をしっかりと採用し、今後の自動運転システム、Factory IoTの取組みを加速してまいります。

もう一つは「育成」です。どんな時代においても、企業における真の競争力は“人の力”であり、高い能力とやる気・志を持った人材を育てていくことが非常に重要です。自ら学び、考え、行動する 人材の育成に引き続き取り組んでまいります。



DENSO

参考資料

- ・2016年3月期 第4四半期(3ヶ月)
所在地別セグメント情報(前年比)
- ・単独決算概要
- ・前提となる為替レート/車両生産台数
- ・得意先別売上
- ・製品別売上
- ・設備投資・償却費・研究開発費の推移
- ・地域別 設備投資・償却費・研究開発費

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

2016年3月期第4四半期(3ヶ月)所在地別セグメント情報(前年比)

26

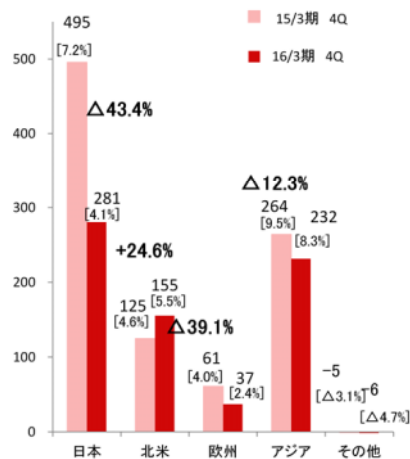
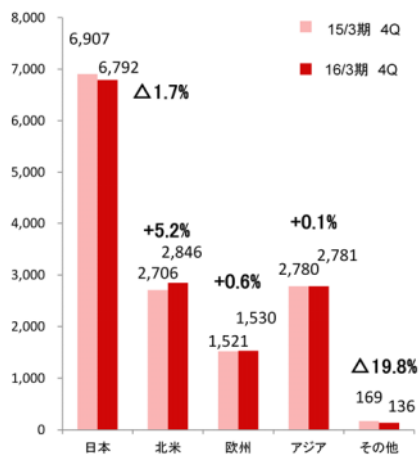
円貨ベース

【単位:億円】

[]は営業利益率

売上収益

営業利益



DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

2016年3月期第4四半期(3ヶ月)所在地別セグメント情報(前年比)

27

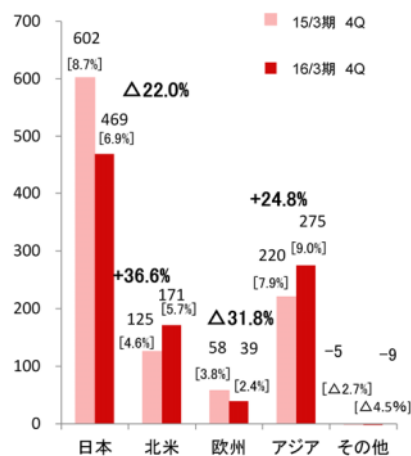
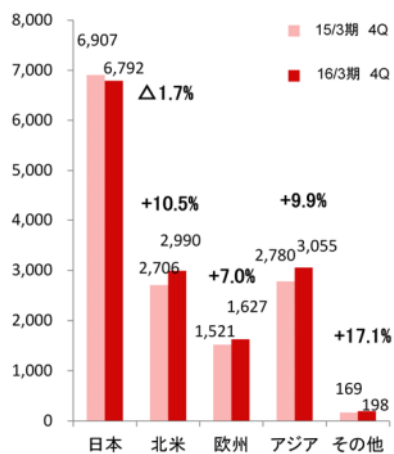
為替の影響を除いた現地通貨ベース (その他収支を除く)

【単位:億円】

[]は営業利益率

売上収益

営業利益



DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

単独決算概要

28

損益計算書(日本基準)

() 内は売上高比

【単位：億円, %】

科目	16/3期最新		15/3期実績		前年比	
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	(100.0)	24,250	(100.0)	24,372	△ 122	△ 0.5
営業利益	(5.9)	1,422	(7.0)	1,695	△ 273	△ 16.1
経常利益	(9.3)	2,262	(9.8)	2,394	△ 133	△ 5.5
税引前当期純利益	(7.8)	1,896	(11.0)	2,672	△ 776	△ 29.1
当期純利益	(6.5)	1,569	(8.1)	1,982	△ 414	△ 20.9

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

前提となる為替レート／車両生産台数

29

		上期			下期			16/3通期			17/3通期	
		前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	予想	前年比
為替レート (円)	USD	103	122	18.8円 円安	117	118	1.7円 円安	110	120	10.2円 円安	110	10円 円高
	EUR	139	135	3.8円 円高	139	130	8.6円 円高	139	133	6.2円 円高	125	8円 円高
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD							25	20	-5	20	-
	EUR							7	7	-	7	-
日系車両生産 台数 (万台)	国内	459	432	△ 6%	463	461	△ 0%	921	893	△ 3%	938	+5%
	北米	299	313	+5%	302	313	+4%	600	626	+4%	648	+4%
	海外日系車	913	927	+1%	921	948	+3%	1,834	1,875	+2%	1,949	+4%

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

得意先別売上

30

【単位：億円、%】

区 分	16/3期 実績(累計)		15/3期 実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ト ヨ タ	19,072	42.2	18,465	42.9	607	3.3
ダ イ ハ ツ	879	1.9	1,056	2.5	△ 176	△ 16.7
日 野 自 動 車	523	1.2	550	1.3	△ 27	△ 4.9
トヨタグループ計	20,475	45.3	20,071	46.7	404	2.0
本 田 技 研	3,592	7.9	3,116	7.2	476	15.3
F C A	2,205	4.9	2,078	4.8	127	6.1
フ オ ー ド	1,558	3.4	1,037	2.4	521	50.3
G M	1,508	3.3	1,299	3.0	209	16.1
現 代 ・ 起 亜	1,485	3.3	1,407	3.3	78	5.6
マ ツ ダ	1,140	2.5	1,054	2.4	87	8.2
ス ズ キ	1,015	2.2	1,081	2.5	△ 66	△ 6.1
V W ・ A U D I	812	1.8	858	2.0	△ 46	△ 5.4
富 士 重 工	809	1.8	747	1.7	61	8.2
日 産 自 動 車	750	1.7	573	1.3	178	31.0
い す ゞ	527	1.2	515	1.2	12	2.4
三 菱 自 動 車	488	1.1	514	1.2	△ 26	△ 5.0
B M W	464	1.0	410	1.0	54	13.2
ベ ン ツ	362	0.8	345	0.8	17	5.0
P S A	267	0.6	209	0.5	59	28.2
ホ ル ダ	261	0.6	151	0.3	111	73.5
ジャガー・ランドローバー	194	0.4	218	0.5	△ 24	△ 11.0
そ の 他 メ ー カ ー	2,568	5.7	2,625	6.1	△ 58	△ 2.2
○ E M 計	40,482	89.5	38,307	88.9	2,175	5.7
※ 市 販 ・ 新 事 業 他	4,763	10.5	4,791	11.1	△ 27	△ 0.6
合 計	45,245	100.0	43,098	100.0	2,147	5.0

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上、型リース等を含む

DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

製品別売上

31

【単位：億円、%】

区分	16/3期実績(累計)		15/3期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハ ワ ト レ イ ン	16,197	35.8	15,290	35.5	907	5.9
熱	14,099	31.2	13,438	31.2	661	4.9
情 報 安 全	6,893	15.2	6,266	14.5	627	10.0
電 子	3,722	8.2	3,732	8.7	△ 10	△ 0.3
モ ー タ	3,066	6.8	3,023	7.0	43	1.4
そ の 他 ※	645	1.4	686	1.6	△ 42	△ 6.1
自 動 車 分 野 計	44,622	98.6	42,436	98.5	2,186	5.2
新 事 業 分 野 計	624	1.4	662	1.5	△ 39	△ 5.8
合 計	45,245	100.0	43,098	100.0	2,147	5.0

※ 設備売上、子会社オリジナルブランド製品等を含む

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

地域別 設備投資/償却費、研究開発費

32

【単位：億円】

		15/3期 実績	16/3期 実績	増減率	17/3期 予想	増減率
設備投資	日本	1,890	1,910	1.1%	2,005	5.0%
	北米	485	456	▲6.0%	435	▲4.6%
	欧州	292	309	5.8%	315	1.9%
	アジア	831	649	▲21.9%	630	▲2.9%
	その他	44	17	▲61.4%	15	▲11.8%
	合計	3,542	3,341	▲5.7%	3,400	1.8%
償却費	日本	1,333	1,346	1.0%	1,430	6.2%
	北米	234	280	19.7%	300	7.1%
	欧州	170	191	12.4%	200	4.7%
	アジア	428	520	21.5%	530	1.9%
	その他	36	31	▲13.9%	20	▲35.5%
	合計	2,201	2,368	7.6%	2,480	4.7%
研究開発費 (売上高比)		3,964 (9.2%)	3,993 (8.8%)	0.7%	4,150 (9.2%)	3.9%

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.